

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB版はこちら

議会だより



No. 215

令和5年11月1日発行

CONTENTS

9月定例会

【特集】北海道医療大学移転へ～特別委員会設置を協議～・・・p. 2

予算の使われ方を厳しくチェック・・・p. 3

特集 より充実した図書館へ～司書の人材確保と働き方～
令和4年度各会計決算審査特別委員会、各常任委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・p.12

- ・動き出した風力発電建設計画
- ・魅力ある当別町のこども施策
- ・災害に強い町づくりを目指して
- ・ChatGPTを成功させるために

【特集】議員インタビュー（第2回）・・・p.18

任期中に取り組みたいことや普段の姿などをインタビューしました



訪問介護サービス 一緒に料理を行う様子

特集

北海道医療大学移転へ

～特別委員会設置を協議～



9月28日 医療大移転方針説明時の様子

北海道医療大学が北広島市へ移転を検討していることが報道されました。これを受けて当別町議会では、全議員が出席して議員協議会などを開催し、北海道医療大学の移転に関する特別委員会の設置について協議を行っています。

町長

これまでの40数年の経緯を踏まえて、その絆を継承するために、当別町に踏み止まっていたいただくための協議の時間をいただきたい。そして、移転するということを撤回していただきたいという要望を提出したい。

9月26日開催

議員協議会

- ・ 9月22日の報道を受けての町の対応について町長から説明を受ける。
- ・ 医療大学へ提出する要望書の説明を受け、議会も賛同することを全員一致で承認。

佐藤議員

経済的・文化的影響を受ける医療大学の移転について、影響の調査と長期的なまちづくりの議論が必要。速やかに特別委員会を設置し、移転の影響、対策と将来のまちづくりについて調査するべき。

10月3日開催

議員協議会

9月28日に医療大から町へ移転方針が正式に伝えられたことを受けて、今後の議会としての対応を協議。特別委員会の設置時期については意見が別れる。

山崎議員

3、4年で住民が1,000人減るという大前提の中で魅力あるまちづくりをどう進めるか。総合戦略を強化して、まず今人口が増えつつある場所を積極的にカバーすることが必要。

芳形議員

去る者は追えではなくて、これからどういうまちづくりをしていかないと、この町が残るためどうしたらいいのかという議論に転化していかねばならないと思う。

10月11日開催

議会運営委員会

早期に特別委員会を設置することについては意見が一致。しかし、この件に関する情報がなく、不確定要素が多いことから、12月定例会をめぐり各議員が情報収集を行い、設置について協議していくことになった。

秋場議員

町の人口増加、維持に向けて一番大切なのは妊娠、出産、保育。そういう姿勢からもこの機会を利用して視点を変えたらと思う。

五十嵐議員

高齢者には、今のサービスがどうなるのか、ボランティアがどうなるのか、身近なことで悩んでいる方もいる。不安を解消していくことも大事だ。

○特別委員会とは

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会の双方にまたがる案件や、特に重要であるために特別の構成員により審議する必要がある場合、地方自治法第109条、当別町議会委員会条例第5条に基づき、議会の議決で設置される。